



# 生物多様性と遺伝資源 (バラの場合)

千葉県生物多様性センター  
副主幹 御巫由紀

# 1 千葉県野生バラ

ノイバラ



テリハノイバラ



アズマイバラ



ハマナス



# ノイバラ の分布



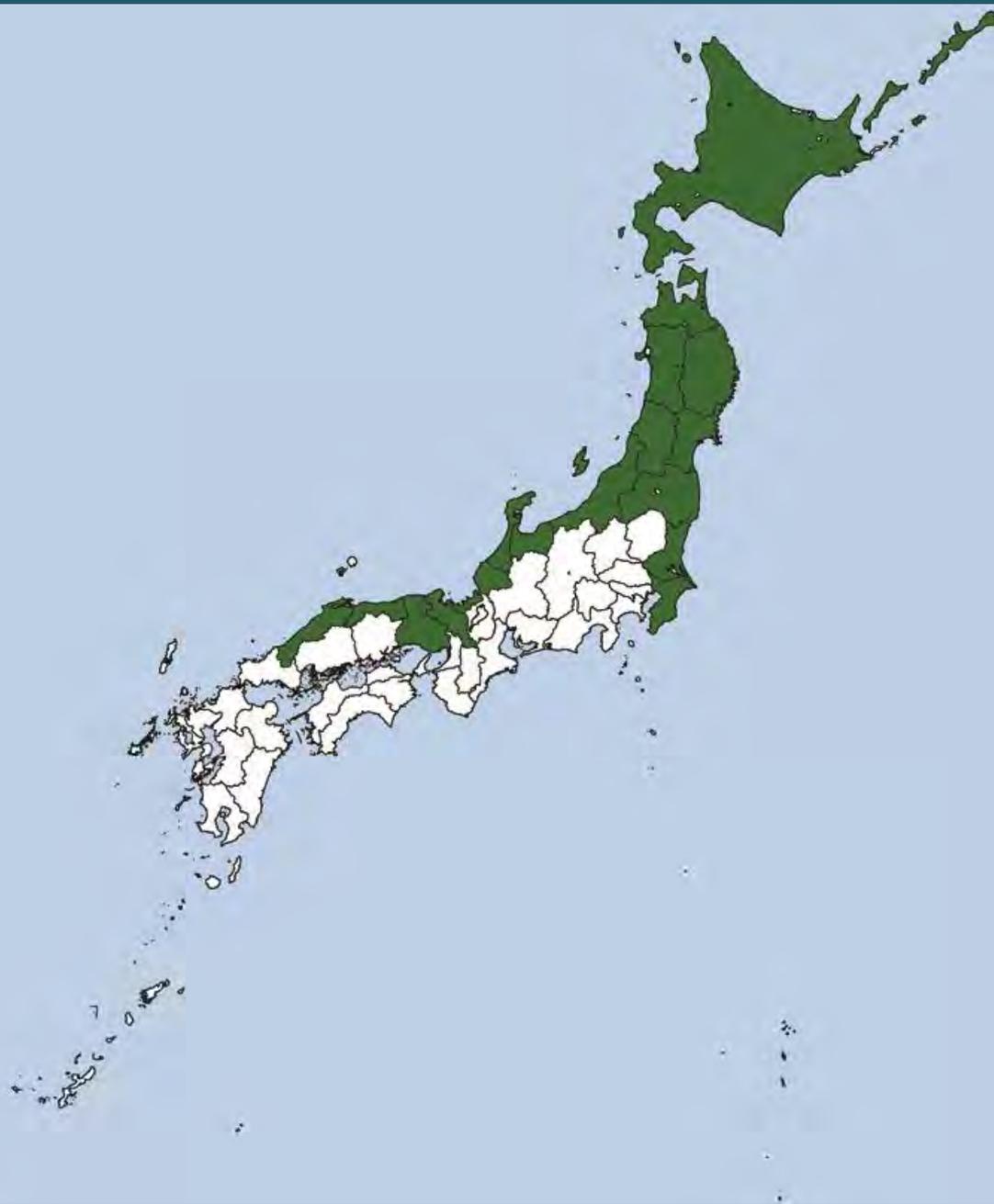
# テリハノイバラ ラの分布



# アズマイバラ の分布



# ハマナス の分布



## 2 日本の野生バラ

12種 3変種 1フォルマ

ノイバラ

(変種) ツクシイバラ

ヤマイバラ

フジイバラ

テリハノイバラ

(フォルマ) リュウキュウテリハノイバラ

ヤブイバラ

(変種) モリイバラ

(変種) アズマイバラ

ミヤコイバラ

ハマナス

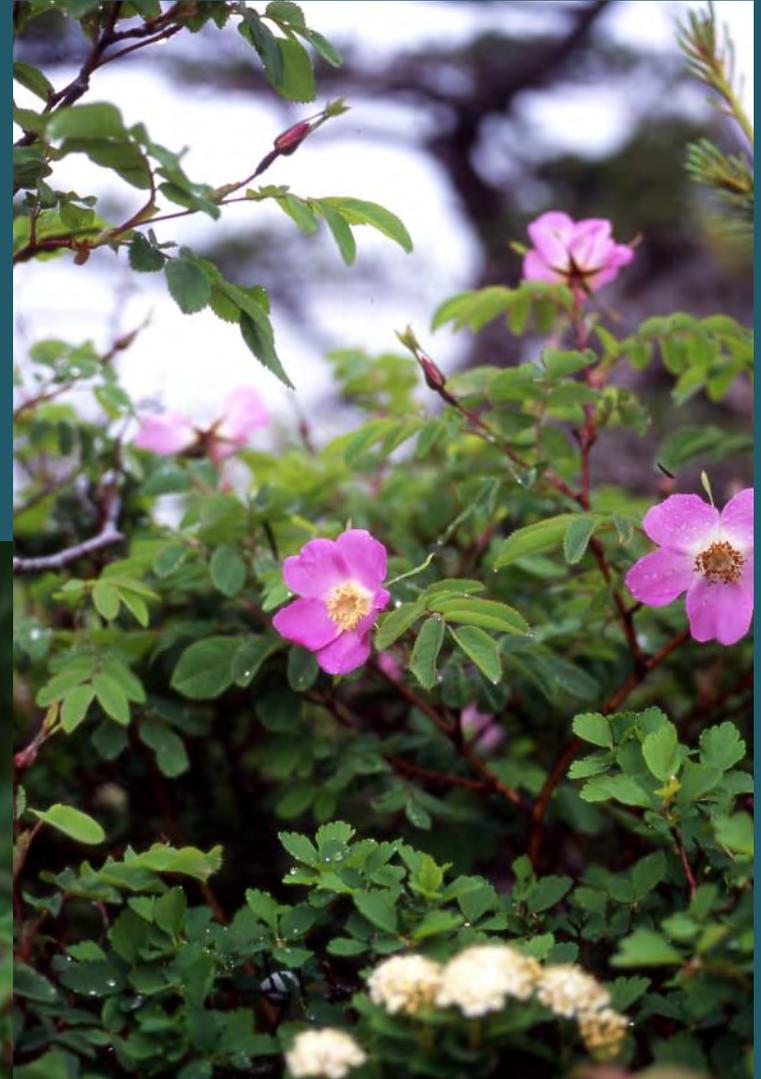
カラフトイバラ

オオタカネバラ

タカネバラ

サンショウバラ

カカヤンバラ



# 野生のバラを見分けるポイント



ハマナス

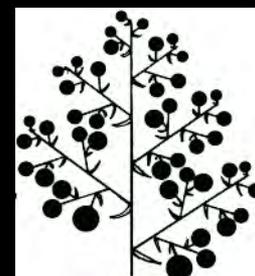


ノイバラ

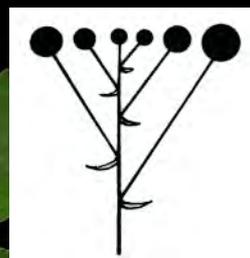
# 花序の形



たんせい  
単生



えんすいかじょ  
円錐花序



さんぼうかじょ  
散房花序

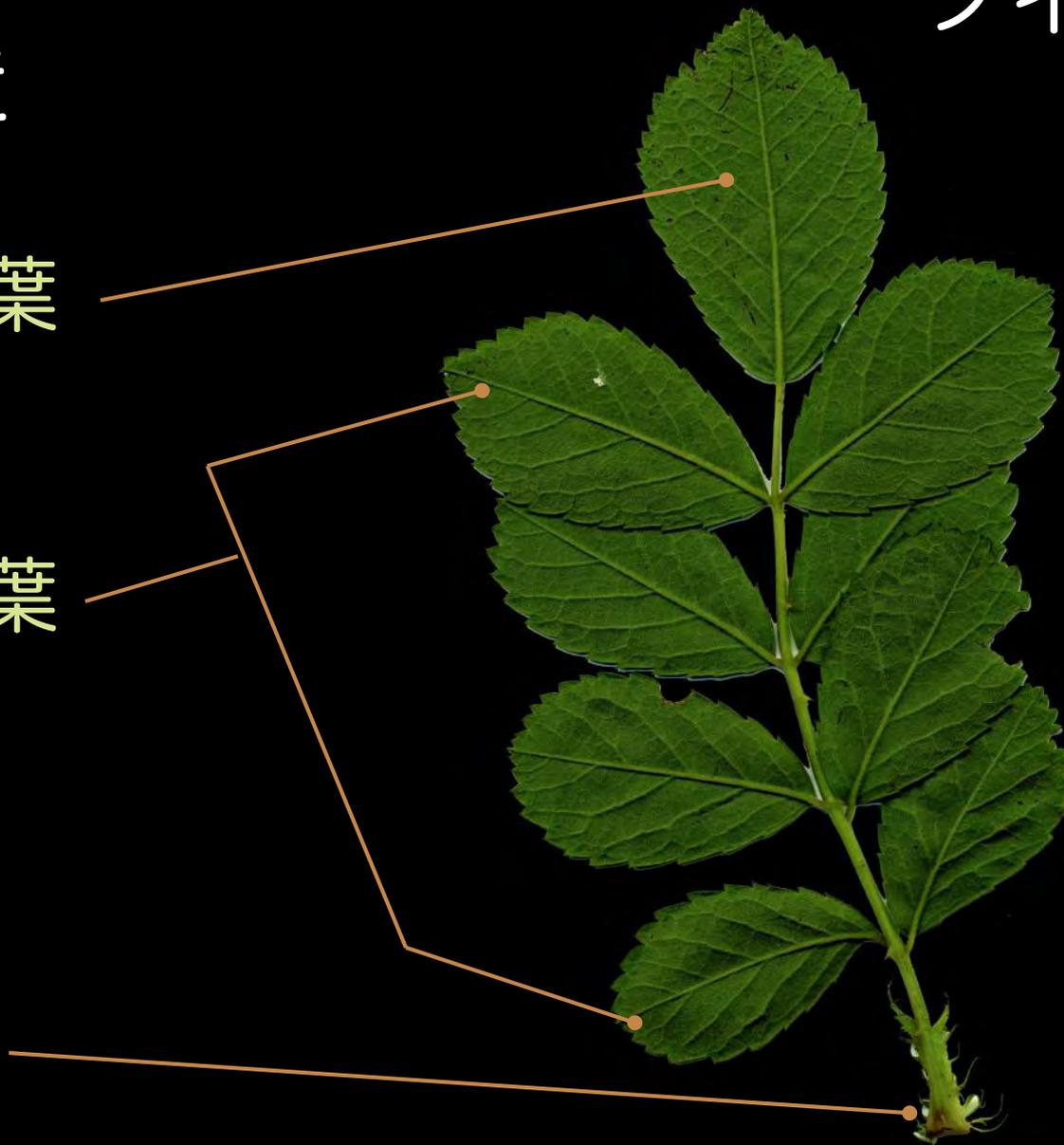
ノイバラ

# 葉の構造

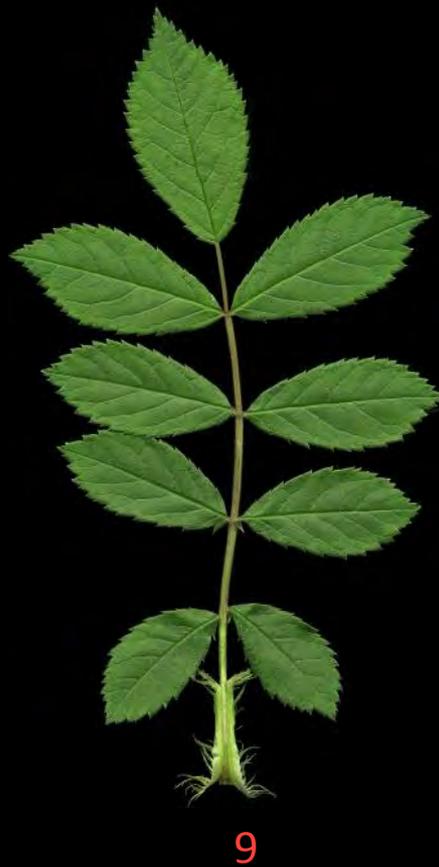
頂小葉

側小葉

托葉



# 小葉の数



# 葉の質



光沢あり



光沢なし



皺あり

# 葉軸の毛



テリハノイバラ  
(無毛)



ノイバラ  
(有毛)



サンショウバラ  
(有毛)



ヤブイバラ  
(有毛)

# ノイバラ

変種：ツクシイバラ



# テリハノイバラ

forma

リュウキュウテリハノイバラ



テリハノイバラの突然変異?  
チョウジザキテリハノイバラ



# ヤマイバラ



# フジイバラ



# ヤブイバラ

(forma: イヌニオイイバラ)



# ヤブイバラ

変種：モリイバラ



変種：アズマイバラ





ミヤコイバラ



# ハマナス



# カラフトイバラ



# オオタカネバラ



# タカネバラ



# カカヤンバラ

ルドゥーテのバラ図譜

1817-1824年



# サンショウバラ



### 3 世界の野生バラ (1) 中国



□サ・キネンシス・スポンターネア



□サ・ギガンテア

### 3 世界の野生バラ (1) 中国



ロサ・ウィルモツティアエ



ロサ・ムルティフロラ・  
カタエンシス

### 3 世界の野生バラ (2) ヨーロッパ



ロサ・カニーナ

ロサ・  
スピノシッシマ



ロサ・ガリカ



### 3 世界の野生バラ (3) 北アメリカ

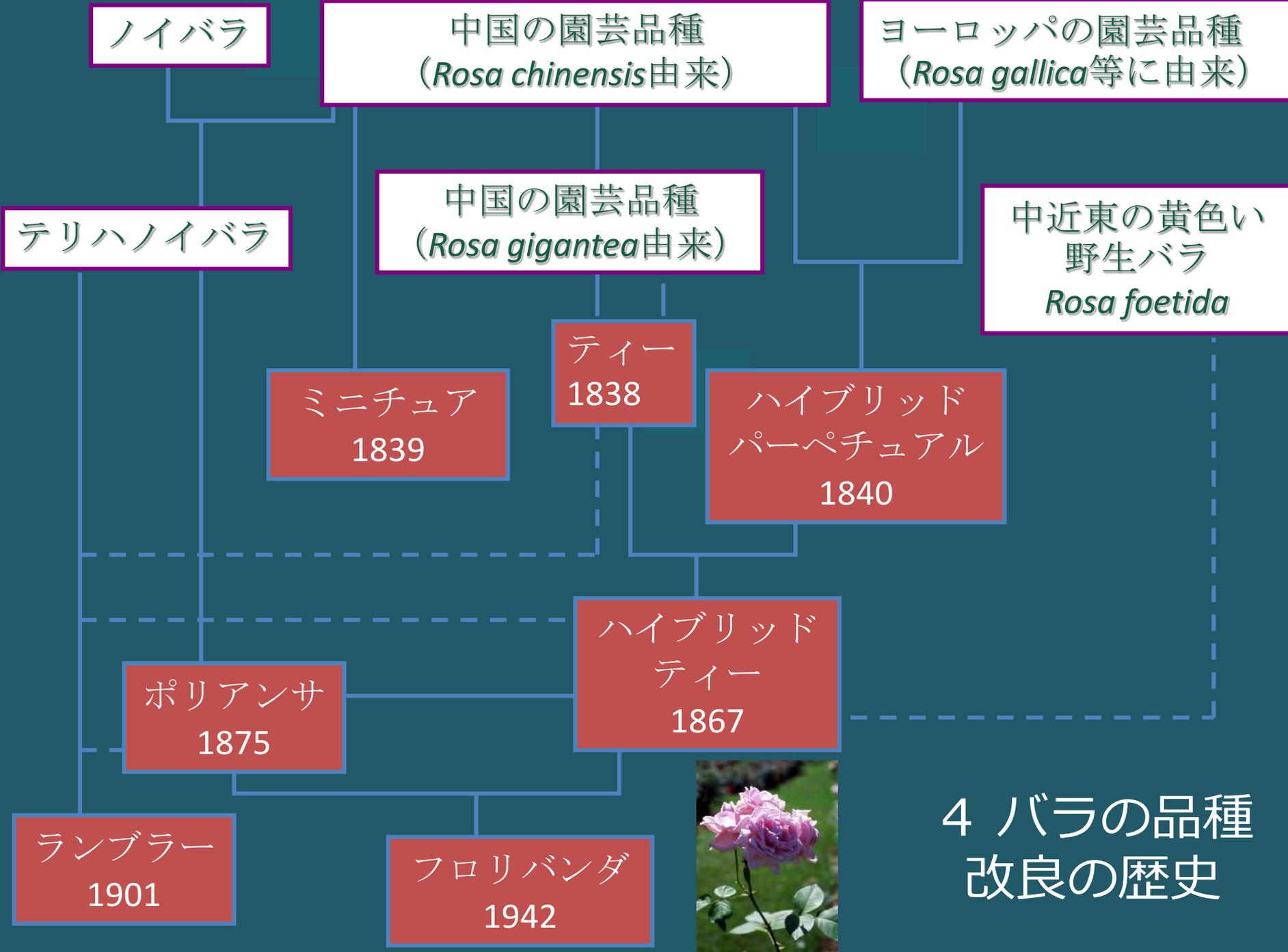


ロサ・セティゲラ

バラ属植物は北半球だけに分布する



ロサ・ヴァージニアナ



# 4 バラの品種改良の歴史



# 栽培バラの原種となった野生バラ



□サ・ガリカ  
(4倍体)



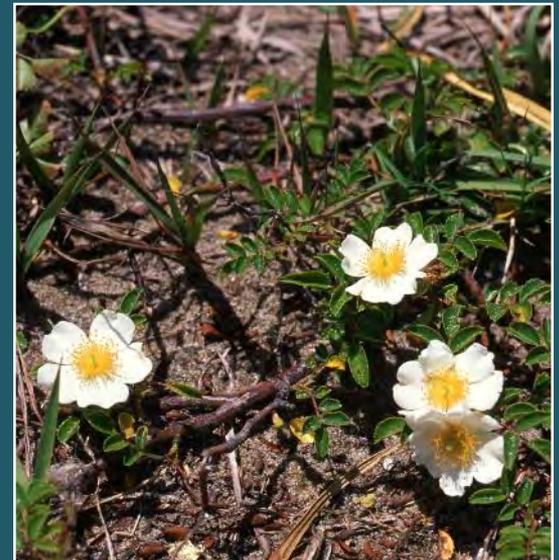
□サ・フォエティダ  
(4倍体)



ハマナス  
(2倍体)



ノイバラ  
(2倍体)



テリハノイバラ  
(2倍体)

# 栽培環境下で起こった交雑により 誕生したバラ

ダマスク  
ローズ  
(4倍体)

アルバ  
ローズ  
(6倍体)

ケンティフォリア  
ローズ  
(3 or 4倍体)

チャイナ  
ローズ  
(2 or 4倍体)



*R. x damascena*  
'Trigintipetala'

*R. x alba*  
var. *suaveolens*

*R. x centifolia*

*R. chinensis*  
var.  
*semperflorens*

## 5 日本の野生バラが果たした役割

### (1) ノイバラ

多花性、つる性、矮性



# ノイバラから生まれた園芸品種

ポリアンタ系統  
'グルワール・デ・ポリアンタ'  
Guillot, 1886



ハイブリッドムスク系統  
'トリアー'  
Lambert, 1904



# ノイバラから生まれた園芸品種

ハイブリッド・  
マルチフローラ系統

‘ファイルヒエンブラウ’  
Schmidt, 1909



## 5 日本の野生バラが果たした役割

### (2) テリハノイバラ

つる性、照り葉



# テリハノイバラから生まれた園芸品種

ハイブリッド・  
ウィクライアーナ系統

‘アレクサンドラ・ジロー’  
Barbier, 1909



## 5 日本の野生バラが果たした役割

### (3) ハマナス

耐寒性



## 5 日本の野生バラが果たした役割

ハマナスから  
生まれた園芸品種

ハイブリッド・ルゴース系統

‘リタウスマ’

Ricksta, 1974



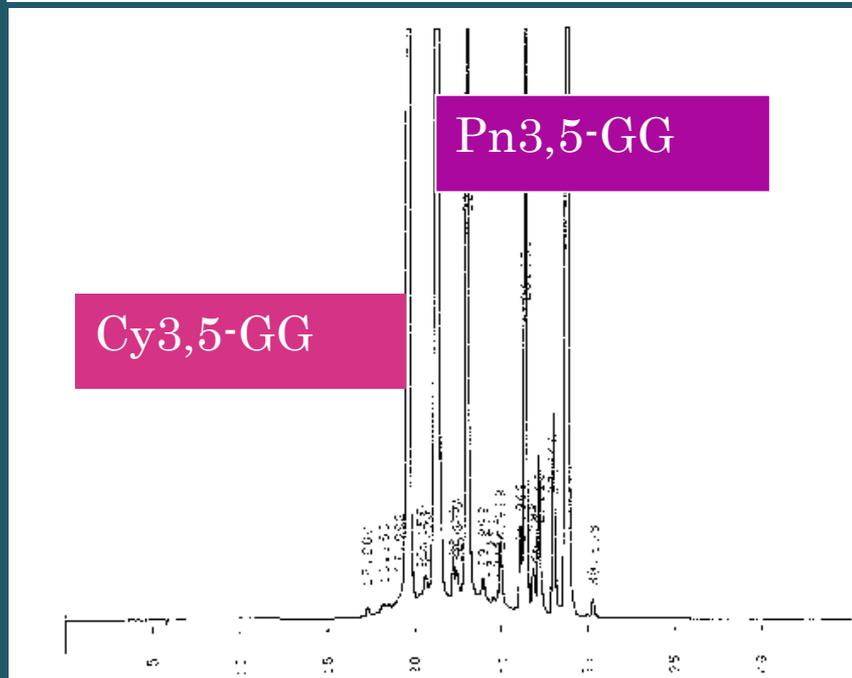
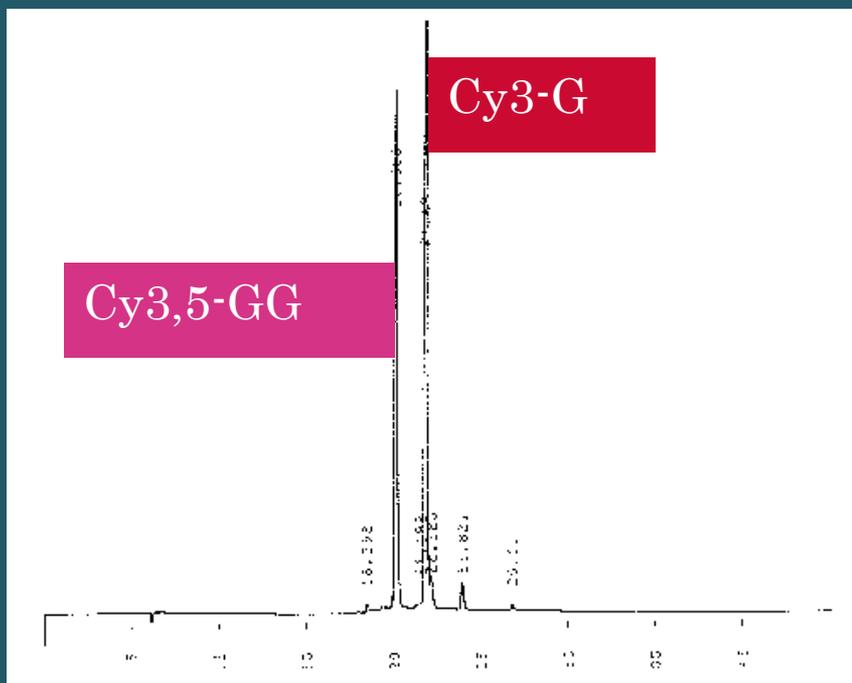
## 6 新しいバラ

～バラの花色の育種～

白、ピンク、紫、赤、黄、茶、... 青



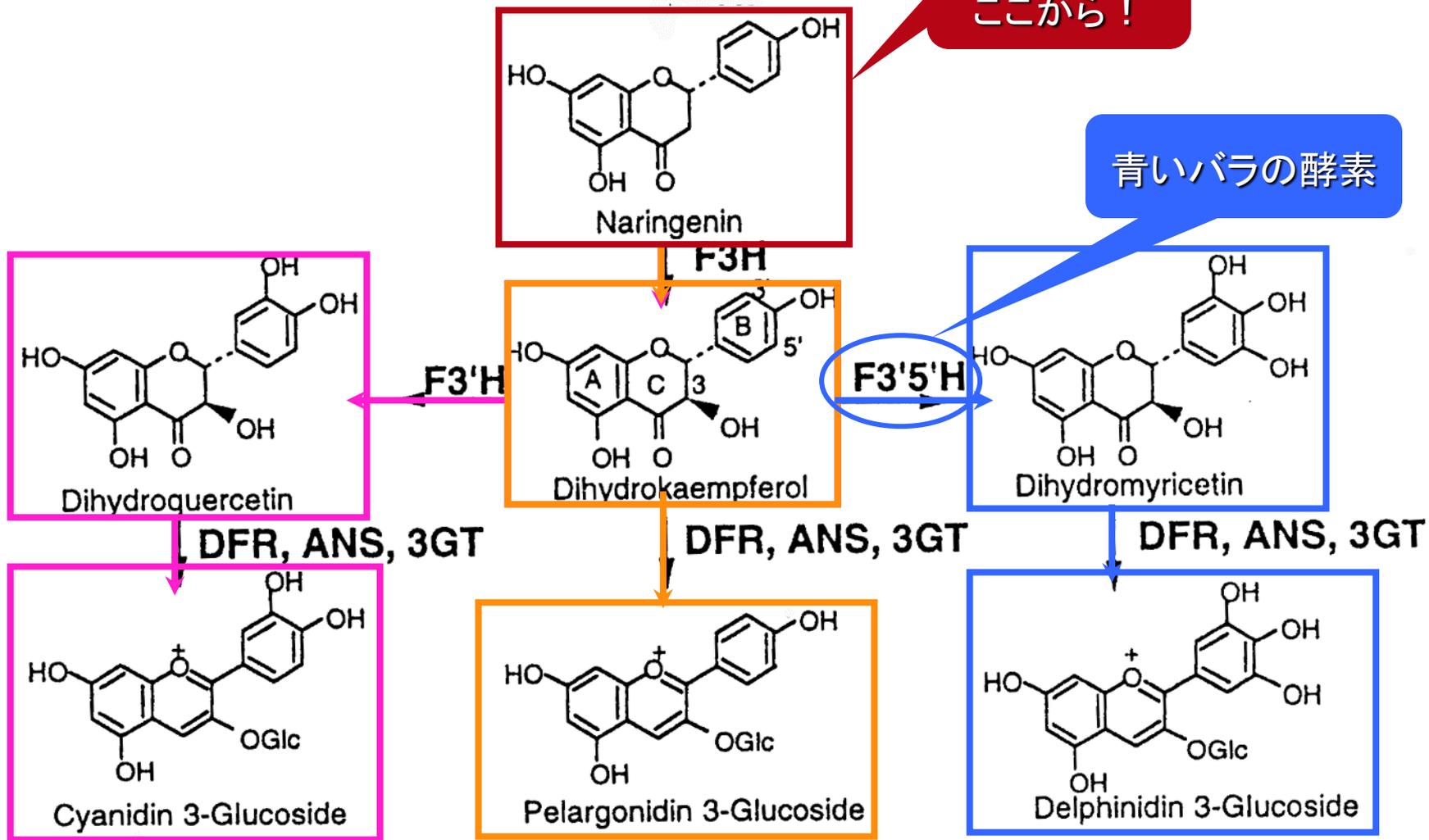
# 赤い花色の起源



# 花の色素の生合成経路

スタートは  
ここから！

青いバラの酵素



シアニン  
3-グルコシド

ペラルゴニン  
3-グルコシド

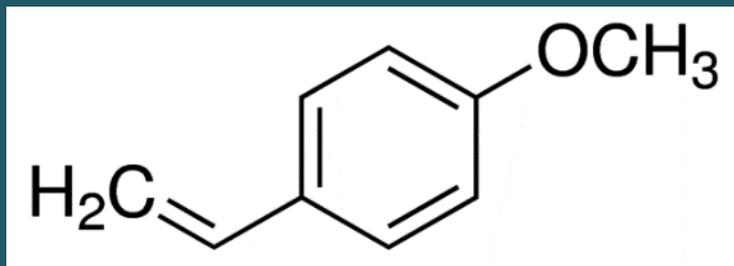
デルフィニン  
3-グルコシド

～ミルラの香りのバラの育種～



イングリッシュローズ  
‘セント・スウィザン’  
D. Austin 1993

# ミルラの香りの起源



p-メトキシスチレン



ロサ・アルウェンシス

## 7 遺伝資源とは

人類にとって今すぐ役に立たなくても  
将来、利用される可能性がある生物  
種の多様性がそれを支える



ロサ・キサンティナ（フランスの個人庭園で）

